

科学と日本語分科会(第 24 期・第 3 回)議事要旨

平成 30 年 7 月 14 日(土)14 時 00 分~16 時 00 分

東京大学駒場キャンパス 16 号館 1 階 107 室

参加者：工藤真由美、木部暢子、金水敏、酒井邦嘉、谷川恵一、鈴木泰

議 題 (1) フォーラム企画案追加募集について

(2) 今期の取り組みについて

(3) 今後の取り組みについて

(1) フォーラム企画案追加募集について

今年度はフォーラムの募集には応じない。

(2) 今期の取り組みについて

国語研究所と共催で、来年度に音声言語と手話言語についてのシンポジウムを企画する。

シンポジウム企画の内容に関して留意すべきこととして、以下のような事項について議論した。

①菊澤律子講師による大阪大学リレー講義「手話の世界と世界の手話言語 入門」報告。

②手話言語に関する放送の企画についての NHK からのインタビューの報告。

関連して、放送大学の科目としての手話の講義の可能性（放送大学への問い合わせ必要）

③大学の聾者および盲者に対する受入れの趨勢。

④聾者および盲者への対応と AI 技術との接点。

⑤音声言語を介しない文字言語の理解可能性。グーグル翻訳の問題点など。

⑥人工知能と ALT。

⑦センター試験の採点の機械化。

⑧英語入試への業者テスト導入。

なお、⑦⑧の問題については、「文化の邂逅と言語」分科会と意見交換の必要がある。

(3) 今後の取り組みについて

新たな提言は出さず、前回の提言にもとづいて、科研の新学術分野への申請も視野にいれつつ、第 24 期大型研究計画のマスタープランの申請を期する。

次回会議予定 12 月 8 日（土）14:00-16:00

場所 東京大学駒場キャンパス

議題 マスタープランの申請に関して。

なお、シンポジウムについては、次々回の会議において議論する。

(以上)